

## 平成26年度第1回市民活動団体支援制度審査会

開催日時 平成26年4月15日(火) 午前9時30分から

開催場所 市役所403・404会議室

出席者

(委員) 中川委員、仲川委員、宮西委員、谷野委員、東委員、中田委員

(事務局) 杉浦市民活動推進課長、八重市民活動推進課長補佐、坂谷市民活動推進センター所長、高橋市民活動推進センター係員

### 案件1. 補助金交付確定にかかる事業報告書審査

【事務局】 団体からの報告書提出を受け、事務局において、「事業計画書と事業報告書の内容」「収支予算書と収支決算書の内容」「収支決算書における支出項目、各金額」「領収書等添付書類」の確認と精査を行い、「交付予定額」を確認した。それぞれの団体の実績報告書類に基づき、事業予定から変更となった点など特筆事項について説明します。

団体番号2 特定非営利活動法人いこま国際交流協会

支援対象事業「国際交流ひろば ハロハロ☆デティクラブ」

【事務局】 この事業では、多文化共生を目的とし、子ども対象プログラムと保護者対象プログラム及び支援者養成プログラム「多文化共生教育推進講座」の開催を予定しておりました。先の2つのプログラムについては、当初計画どおり実施されましたが、推進講座については、生駒山にあります野外活動センターでの実施を予定しておりましたところ、台風接近の影響に伴い中止となりました。よって、講師謝礼となる報償費が減額、また交付決定額が希望額を下回ったことに伴い、スタッフの旅費の自己負担や子どもプログラムで提供する補食の持ち寄りなどにより、6万75円減額の26万2,325円うち支援対象経費25万7,825円、支援金額は交付決定額と同額の9万4,112円となりました。

団体番号3 鹿ノ台納涼祭実行委員会

支援対象事業「地域ぐるみ鹿ノ台納涼祭」

【事務局】 備品で計上していた会場用の電球「LED電球」30万円については、従来のシリカ電球よりも重く、櫓からのロープに設営できないことが判明したため購入をされま

せんでした。その代わりとしてシリカ電球の追加購入の消耗品費の増額、委託料については、廃棄物処理費用が約13万円増額となりました。各費目間の差異はありますが、結果、総事業費はほぼ当初予定額の403万9,322円、支援対象経費291万7,410円、支援金額は交付決定額と同額の50万円となっております。

団体番号7 市民公益活動団体「ほたる」

支援対象事業「ホタルの飛ぶ環境と憩の場の創造」

【事務局】平成20年から取り組みを始め10年かけて、ホタルが飛ぶ環境作りに取り組んでいます。6年目となる今回は、幼虫の飼育数の生存率をアップさせる等、成果を出しています。決算額は1万5,144円減額の9万8,856円、支援対象経費額は、総額減額分と、会員間の資料コピー代や郵送費など支援対象経費とならなかったものにより、9万3,626円、よって交付決定額から1万187円減額の4万6,813円となっております。

団体番号9 竜田川流域の美しい街まもり隊

支援対象事業「地域の清掃（ごみ拾い）活動及び除草・花植え活動」

【事務局】年間を通じて地域のごみ拾い、花植え活動をされました。熱中症対策として飲料水に減額が生じたほか予定通りの執行となっております。総事業費5万2,058円、支援対象経費5万2,058円、支援金額は交付決定額と同額の2万5,800円です。

団体番号14 特定非営利活動法人いこま山の子会

支援対象事業「おひさまカフェ“自由保育”ってなに？」

【事務局】講座の内容を録音し、記録として団体HPにて掲載を予定していましたが、交付決定額が希望額より約19万円減額になったことにより、実施されませんでした。このことに伴い、賃金及び委託料に差額が生じています。また同じ理由から、消耗品の購入内容の精査、保育を別室ではなく、講座実施会場で行うことによる使用料の減額等があり、結果、総事業費26万3,457円の減額。総事業費42万5,143円、支援対象経費40万5,242円、支援金額は交付決定額と同額の14万6,200円となっております。

団体番号15 ひまわりのつどい

#### 支援対象事業「ひまわりまつり」

【事務局】年間を通じて知的な障がいがあるメンバーとともにレクリエーションプログラムを実施している団体実施のプログラム。メンバーと社会人や学生等のボランティアと一緒に昼食作りやゲームを楽しみ障がいがある人への理解を深め尊重しあうことを目的として実施。総事業費は、昼食作りの原材料費に差額が生じ4万7,225円、支援対象経費は同額の4万7,225円、よって支援金額は交付決定額から1,388円減額の23,612円となっています。

#### 団体番号16 遊楽民 Plus&Next

#### 支援対象事業「吹奏楽演奏会、勉強会」

【事務局】小学校や中学校において吹奏楽活動が活発な本市において、吹奏楽を生涯学習の題材とし学校と協力し広く市民に音楽を提供する活動をされています。今回は、当初3月にも予定し、会場の予約もされていた「勉強会と演奏会」が、学校との日程調整ができず、出演者が少なくなったことに伴い予定していた資金が集まらず、中止となりました。結果、総事業費5万755円、支援対象経費4万1,200円、支援金額は交付決定額から888円減額の2万600円となっています。

#### 団体番号17 生駒市学童保育運動連絡協議会

#### 支援対象事業「生駒市学童保育に通う児童の健全育成を助成する事業」

【事務局】事業内容については、当初計画どおり実施されました。報償費については、当初参加児童への参加商品代として4万円計上されていましたが、決算では指導員の日当や時間外手当が含まれ約9万8千円の増額になっています。しかし、領収書に不備があったため、支援対象経費額としては0円となっています。また、使用料について、耐寒登山時のバス代が約4万円、駐車場代が約1万円、フェスティバル時のグラウンド使用料が約4万円などにより、11万7,810円の増額になっています。また賃金として計上していた託児費用2万円については、その依頼内容から委託料として、7,500円の報告となっています。以上から、総事業費は、予算額から10万9,327円増額の64万9,327円、支援対象経費額は予算額から約2万円減の48万546円、支援金額は交付決定額から9,727円減額のと24万273円となっています。

団体番号20 ボランティアグループ満天星

支援対象事業「高齢者及び身体の不自由な人への手作り弁当の配食」

【事務局】独居高齢者、高齢者のみの世帯に、週1回手作りのお弁当を配食する活動を年間を通じて、実施され、46回、計2,453食の実績です。事業経費208万7,042円、対象経費130万5,919円この差額は、家賃や光熱水費を計上していないためです。受益者からは、お弁当の原材料費のほぼ実費分となる500円を徴収し、事業収入1,226,500円、自主財源360,542円。支援金額は交付決定額と同額の50万円となっています。今回は、見守り活動を可視化するものとして「配達日報」の記録を意識して実施されました。ご提出があったものからいくつか添付しております。なお、こちらの団体は、構成員の高齢化などの理由で、活動を停止されることになりました。

団体番号22 ECOKA委員会

支援対象事業「鹿ノ台周辺緑地 みんなで四季の花木廻り（かぼくめぐり）と里山を楽しむ活動」

【事務局】鹿ノ台住宅周辺の緑地の整備活動を年間通じて実施されました。苗木の購入数が増えたため、原材料費が約7万3千円増額しています。総事業費52万4,369円、支援対象経費52万4,369円、支援金額は交付決定額と同額の22万円となっています。

団体番号24 生駒精神障害者講演会（ひだまり後援会）

支援対象事業「市民啓発（トーク&ライブ開催）事業」

【事務局】出演者の人数が減ったことに伴い、報償費で10万円の減額が生じています。印刷製本費では、印刷物作成にあたり、作業途中でデザイン変更を依頼することとなったため、当初予定額よりほぼ倍額の決算額となっています。また、当初予定していた来場者への茶菓子手作りは、実施できない会場であったため中止され原材料費が未執行となっています。総事業費45万861円、支援対象経費39万3,185円、支援金額は交付決定額と同額の15万6,944円となっています。

団体番号25 生駒市日中友好協会

支援対象事業「日中文化交流 春節の集い」

【事務局】当初、旅費は計上されていませんでしたが、餃子の調理など、プログラムの手伝いをした学生の旅費が執行されています。印刷製本費では、展示用の写真パネル制作にかかる写真焼付料が約5万6千円かかるなどし、6万4,720円の増額となっております。使用料では、昨年よりも広い会場としてコミュニティセンターを予定していましたが、調理室がないためたけまるホールに変更し、約4万6,700円の差額が生じています。この会場変更に伴い、茶席の規模も変更となり、委託として計上しておりました茶席道具の運搬については、未執行となっております。総事業費44万7,234円、支援対象経費44万3,706円、支援金額は交付決定額と同額の216,000円となっております。

団体番号27 特定非営利活動法人生駒の地域医療を育てる会

支援対象事業「生駒市立病院の開院を見すえて「かかりつけ医」と病院との連携を考えよう！」

【事務局】計画通り事業実施をされましたが、支出については各項目の支出内容を精査され、総事業費14万529円、支援対象経費10万561円、支援金額は交付決定額から5万4,032減額の5万280円となっております。

団体番号28 生駒えんゆう会

支援対象事業「第4回いこまゆきまつり」

【事務局】実績報告書の課題の欄にも団体から記載がありますように、当初の事業予算は220万円の計上でした。しかし、雪の搬入に係る人員の動員が不要になり、賃金では約34万円の減額、また、会場設備のレンタル費が減額できたことにより約35万円の減額など、総事業費85万7,874円で実施されました。支援対象経費79万5,339円、支援金額は交付決定額と同額の34万2,856円となっております。

団体番号29 特定非営利活動法人子守（こまもり）

支援対象事業「少年サッカー大会 子守（こまもり）杯 運営事業」

【事務局】昨年、事業実施日に会場の予約を取ることができず、事業が中止になっていました。今回は、前日の雨により、施設管理者からの要請により、やむを得ず事業を実施することが出来ず、結果、支援金0円となっております。事業の中止は取り下げ対象となっております。

りますので交付決定の取り下げとなります。申請時より雨天時の計画の確認をしておりましたが、3月中下旬に実施をしたいとの団体のご意向があり、雨が降った場合は順延が難しいとのことでした。

団体番号30 特定非営利活動法人地域活動支援センターぷろぼの

支援対象事業「なら風PC教室 in いこま」

【事務局】障がいがある人、子育て中の人、地域の高齢者などにITスキルの支援を行うパソコン講座を開催されました。1期につき連続8回講座を4期実施。実績報告書の課題にもありますように、団体の中で、土曜日開催のこの事業のほかに、平日にも同様の講座を開催したことにより、この講座の受講生が減少し、かつ、各経費も精査し支出も大幅に減額となり、総事業費は当初計画から約77万円減額の49万2,158円、支援対象経費42万7,022円、支援金額は交付決定額と同額の1万3,464円となっています。

以上、16団体分の説明でございます。

【中川会長】ありがとうございます。御説明いただいたことで御質問がございましたらいただきたいと思っております。宮西委員、お願いします。

【宮西委員】質問というよりは、少し気になったところですが、14番のおひさまカフェ事業では、支援金が目標額に達しなかったため、講演録を実施されませんでした。ほかの団体でもあったと思いますが、このように、支援金の交付決定額が目標額にいかなかったもので、ちょっとこの内容はやめましたというものについては、変更届が本来必要ではないでしょうか。それが本来計画されていたどの部分に当たるのかまではちょっと分からないのですが、それを期待して選択した人も中にはもしいらっしゃるのであれば、そういう変更というのをもうちょっときっちりした方がいいのかなと思えました。28番ゆきまつりや30番PC教室も、予算額と決算額がかなり変更になっています。これほど大きく変わって、本来の計画がちゃんと遂行されたのかと感じました。

【中川会長】ありがとうございます。では、東委員。

【東委員】全体としては、いろんな公益的な、子育てや地域の環境の向上など、多様な分野での活動というのは非常にいいなと思っております。ただ、今おっしゃいましたように、どうしても変更は仕方がないのかなと思っておりますが、ちょっと気になりましたのが、

今の中止になったサッカーの大会です。たとえば、もう少し早い時期に計画をしていただいて、荒天で中止となった場合、再度、会場を押さえられるというような時間的余裕を持っていただくと、せっかく、スポーツの機会ということで計画されていることが活かされると思います。

【中川会長】 中田委員、お願いします。

【中田委員】 3点あります。1点は、宮西委員がおっしゃったように予算額と決算額との開きが大きいことから、計画性がもう少し必要であったという点、2点目に今回で申請をやめられる団体の今後のことが気になります。3点目は、昨年他市のイベントで爆発事故がありました。今後、事務局として、LPガスなどを使う場合、事故等についての情報提供も含めて、安全対策に関してどのように、団体に伝えていたのか教えてください。

【中川会長】 谷野委員、お願いします。

【谷野委員】 私も、今、中田委員さんがおっしゃったことが、気になっています。まず、ボランティアグループ満天星さんと、それから竜田川の美しい街まもり隊さんの資料を見せていただくと、活動も活発で、一生懸命されている様子がよく分かります。満天星さんも、お弁当を待っておられる方がたくさんいらっしゃるということですので、何か、今後、いろんな団体さんで交流しながらでも存続させていきたいと思いますというような取り組みができれば良いと思いました。

7番のほたるさんの印刷製本費がゼロになっているのは、何か理由がありましたでしょうか。

【事務局】 はい。ほたるさんの印刷製本費ですが、マイサポいこまの実績報告書として提出いただいたものを、団体メンバーが各自で持っておかれるための経費でしたので、支援対象外になっています。例えば、その報告書を広く市民のみなさんにお見せするとか、冊子体としてららポートなどの公共施設に置かせていただくとすれば対象経費にはなりません。しかし、あくまでも構成員個人持ちとしての印刷物との御説明で、団体の方からゼロでという報告がありました。

【谷野委員】 分かりました。あと、先ほどのお祭りの安全対策のところも気になったのですが、自主的にいろいろ取り組まれているかと思いますが、支援団体である以上、安全マニュアルはあった方がいいかなと思いました。

【事務局】 はい。

【中川会長】 ありがとうございます。では、仲川委員さん、どうぞ。

【仲川副会長】 みなさんもおっしゃっておられましたが、実施段階で、計画と随分差が出てくるというか、動きがあると感じました。最悪の場合、中止に至るといようなことまで起こっています。私は、事業を実施していく中で仕方がないことなのかなという面と、もうちょっと、計画性が必要かを感じる面があります。たとえば、企画段階でのフォローがあったら、ここまで差はでないかなと思ったりもしました。

それから、みなさんと同じように、満天星さんは非常に頑張らせて、これからますますニーズのあるところで、惜しいし、もったいないし、何とかならないものかと思えます。この事業の制度でどうこうはできないとは思いますが、NPOの担い手の育成というか、奈良県中の、生駒市内のたくさんの団体の共通の課題だと思いました。

【中川会長】 今、全部出尽くした感じもしますが、何か事務局からありますか？

【事務局】 まず、次回、申請をしないとおっしゃっている団体の中で、ボランティアグループ満天星さんと竜田川流域の美しい街まもり隊さんの名前が出てきたので、事務局として把握しております団体の状況をお伝えいたします。

満天星につきましては、平成25年度、1年間かけて団体のこれからの方向性をお話し合いされておられます。もちろんこのマイサポの制度ではそこはかかわることはないのですが、ららポートの登録団体でもございますので、その状況については、お話しを伺っておりました。一番の原因は、構成メンバーの高齢化ということでした。ボランティアグループということで、自分たちの活動を無償に近い形でやるということが一番の志として活動を続けておられました。しかし、昨今、ヘルパーの制度など、同じ高齢者支援であっても有給で活動ができる場面があり、こういうボランティアということで存続すると、なかなか若い世代が入ってこないという課題がいよいよ煮詰まってきたというのが25年度だったようです。団体さんとしても、本当に苦渋の御決断だったと感じております。同時に、まさにほかの団体も、いずれ抱える課題が出てきたということで、改めて早い段階から団体構成員の確保というところからららポートとしてもかかわっていかねばならないと感じました。満天星さんは、既に活動は3月で終わられて、今は事後処理をしておられます。

竜田川流域の美しい街まもり隊さんですが、団体が実施される事業規模自体が小さいということと、事業収入を得ることができない事業内容のため、2分1の補助ですと、残り2分の1を団体として負担しなければならないというところを、この3年間も悩みながら申請しておられました。今回、3年間この制度を使うことによって、消耗品も得ることができたと、一旦は届け出はやめるとの御意向でした。ただ、こちらの団体はららポートの



登録団体さんでもいらっしゃいますので、引き続き私たちもかかわっていくことができますので、団体の状況を見ながら、またマイサポへの申請が可能な段階になりましたら御案内させていただきたいと思っております。

また、まつり実施について、LPガスの事故など、団体さんも危機意識を持っておられます。来年度、御申請があった際には、団体さんの方でもしっかりと消防から指導を受けてという注意喚起をさせていただきます。

実施段階と実績の差額という点につきましては、私たちも非常に感じております。1つは、今まで予算に見えていなかったところ、ボランティアの自己負担分をこのマイサポに申請するときにはきちんと予算化し可視化するよう、私たちも、御案内しています。その結果、団体が従来やっておられたよりも予算額が膨らんでの御申請になっているところは否めません。

もう1つは、このマイサポの制度が、増額申請が後からできないことになっていることも要因になっているかと思えます。2万円希望しておられて、例えば市民の選択の届け出が3万円あったとしても、当初申請時の希望額が上限になります。ですので、最初から予算額、希望額を膨らませたいというお気持ちも、予算に反映されているか感じております。

その2点の理由から、実際にかつかつで実施できる事業費よりも膨らませた予算額になっていると。市民の選択の届け出が低かったということから、かつかつ、手弁当の自腹を切ってという事業実施になっておられた結果、差額が生じているのかなというところが1つ。

もう1つは、年度の後半に実施する事業を4月の段階で詰めるのは難しいという声も届いております。計画から実施まで期間がある団体や年間を通じた長期にわたる事業ほど差額が生じている現状があります。事務局として感じているところです。

【中川会長】 ありがとうございます。何か追加で御意見とか御質問はございますか。

【事務局】 変更申請の提出が必要な基準ですが、市民の届け出の結果を公表した8月下旬から、選択の届出結果と支援金希望額とに、特に大きな差額が生じた団体へは、個別に問い合わせをして、変更申請をされるかどうか、もしくは変更申請をされない場合はどのような対策を考えているかというのは、確認をさせていただいています。その時点では、市民に提供するサービスについての変更はないという確約はそれぞれの団体からいただいております。

いこま山のようにちえんさんにつきましては、講座の回数を変えなかったけれども、報告書の作成はしなかったということで、本来は変更申請の御提出と考えていただく内容であったと伝えさせていただいております。

【中川会長】 ほか、追加の御質問等がございますか。それでは、質問がないということですので、この交付額の確定をしてよいかということと、それぞれ委員から全体をごらんになった上での御意見をいただくということをお願いできますでしょうか。では、宮西委員さんからお願いします。

【宮西委員】 確定については、説明いただきましたので、これで確定していただいていると思います。

先ほどの続きになりますが、支援希望額と交付決定額の差が多い団体ほど、予算額と決算額が変わってくると感じています。ここ何年か、何回か出されている団体は、御自分の団体のこの活動への支援の規模についてそろそろ見えてきているかと思っておりますので、前回の実績を参考にし、希望額を集めるのにどれだけの届出をもらう必要があるか、つまりは届出を促す活動が必要であるということを確認していけたらいいと感じました。

【中川会長】 では、東委員さん、どうぞ。

【東委員】 先ほど来、各委員さんの方から出ましたように、こういう市民活動の団体というのは、行政が発想し得ないような柔軟な発想でチャレンジをしておられる活動というのがあります。また、計画は出したけれども、実施しているうちにいろんなアイデアが出てきて、いい意味で前向きに変えていかれることがまさにこういう団体の強みでもあります。ですので、そこは余り縛らずに、きちっと相談や報告をしていただく前提で、やっっていくことがいいと思います。それから、やはり公金ですので、なぜ事業内容が変わったのか、どういう実績なのかというのもきちっと報告をいただいて公表していく必要があります。そうした中で、市民の皆さんの審判を仰ぎ、ただ単に行政の窓口だけが評価するのではなく、市民の皆さんの評価をいただきながら、市民の皆さんがどういう感じで評価していただくのかを見据えて我々も考えていったらいいのかなと思います。この制度もまだその過渡期ではないかと思っております。

【中川会長】 ありがとうございます。谷野委員さん、どうぞ。

【谷野委員】 交付の確定はこれで、結構です。事業内容はみなさん、とてもいい事業をされていると思うので、今後もこの制度が拡大していったらいいと思いますが、やはり、先ほどおっしゃったように、今後、支援金を皆様からいただくための結果の後にどうい

取り組みを今度はされるかとか、あと、そういう事業で賛同を得て寄附などをいただきやすくするためにはどうしていったらいいとか、最終的には、自主財源というか、事業で収入を得ていく何かそういう道筋みたいなのを皆様に持っていただかないと、何かだんだん事業が小さくなっていってしまうんじゃないかなという気がします。これはすごく難しいと思いますが、そのように感じました。

【中川会長】 ありがとうございます。それでは、仲川委員さん、どうぞ。

【仲川副会長】 私も確定額はこれをお願いいたします。

団体さんが、この制度にだけ頼っているということでは、団体の活動の発展性がなく、残念だと思います。唯一、奈良県生駒市で始まった制度ですので、もっと大きな目的があったと思います。これはあくまできっかけづくりということですね。もっと応援する市民も増やしたいし、活動している人たちの意識も変わってほしい。一度自立して、これを得なくても自分たちで事業がしていけるような、ほかからの寄附、助成金、自主事業、そう進んでいけるような道筋というのをやっぱり持っていきたいと思います。

【中川会長】 ありがとうございます。

それでは、交付確定額を原案承認ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

— 了 —